

読売新聞 きょう（10月2日）のイチ押し

一面・社会面など 眞子さま 26日結婚 儀式なし、一時金辞退

宮内庁は、秋篠宮家の長女眞子さまが小室圭さんと今月26日に結婚されると発表しました。結婚に批判的な国民感情を考慮し、婚約や結婚の儀式は全て行わず、眞子さまの意向を踏まえて皇室を離れる際の一時金は支給しません。26日に小室さんとともに記者会見に臨まれます。

- ★一般の結納に当たる「納采の儀」などの結婚関連の儀式は全て行われません。その理由として、宮内庁は天皇陛下と秋篠宮さまが、多くの人が2人の結婚を納得し、喜んでいる状況ではないと判断されたことを挙げました。
- ★宮内庁は、眞子さまが結婚に関し、ご自身や家族、小室家への誹謗中傷と感じられることが続いたことで「複雑性PTSD（心的外傷後ストレス障害）」と診断されたと公表しました。眞子さまは「これ以上、精神的な苦痛が続くことは耐えられない」と早期の結婚を希望されました。

2社面 緊急事態宣言解除初日 酒解禁 繁華街に人出

新型コロナ対策で大阪、京都、兵庫など19都道府県に出されていた緊急事態宣言が1日に解除され、飲食店での酒提供が再開されました。感染再拡大を防ぎながら、日常を取り戻す生活が始まりました。

大阪府内では感染対策の認証を取得した飲食店で、午後8時半まで酒を出せるようになりました。大阪市繁華街・新世界でも酒の提供を再開されました。訪れた人たちは「店で飲む酒は最高」と開放感に浸りました。しかし、外国人や観光客が戻るには時間がかかりそうで、「しばらく休みます」という貼り紙が掲げられたままの店もあります。すし店の店長は「コロナ前の金曜日に比べると、お客さんは少ない。次の感染の波が来たらと思うと不安はあるが、徐々ににぎわいが戻ってほしい」と話していました。

他紙と比べて

将棋界の最高棋戦・竜王戦七番勝負（読売新聞主催）が8日に開幕します。竜王3連覇が懸かる豊島将之竜王と、史上最年少四冠を目指す藤井聡太三冠が争う注目のシリーズです。特別面2ページを設け、雌雄を決する2人に抱負を聞きました。佐藤康光九段（日本将棋連盟会長）の七番勝負展望も掲載しています。豊島竜王が意地を見せるのか、藤井時代が到来するのか——。竜王戦の見どころをたっぷりと紹介しました。